

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

52(1)

商工観光課

補助金の名称 (規則・要綱名)	西尾市勤労者団体事業補助金 労働関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	市内勤労者団体が行う事業に対する補助 連合愛知三河中地域協議会西尾地区連絡会		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	270,000円	257,000円	257,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	S52	終了年度(予定) H34
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/04/10受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以内である
	※ 補助対象経費の額	27,113,218円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性	見直した上で継続		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

52(1)

商工観光課

補助金の名称 (規則・要綱名)	西尾市勤労者団体事業補助金	
	労働関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	5 工業・新産業・雇用
	施策内容による分類	4 雇用環境の整備
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	労働者の福祉向上のための補助につき数値的な目標を定めることができない。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されていない
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	県内各市に支部があり、少なくとも協議会を同じくする岡崎市と協議しなければならない。	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られない
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	市内勤労者	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	連合愛知三河中地域協議会	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	労働者団体のボランティアに対する補助であり、勤労者の生活福祉の向上と相互連携を図っている。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	検討の余地がある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助対象経費の事業費について、実績報告書と収支報告書の提出により書類審査及び聞き取り審査を行っている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	昭和52年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

52(1)

商工観光課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	270,000円	257,000円	257,000円	
	補助件数	1件	1件	1件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	270,000円	257,000円	257,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
D	D	E	E	E	E	E
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	廃止検討		法的根拠を含めた補助の目的を明確にして、市民に説明できるようにしていただきたい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
市が補助をすることによって、何を求めているのか明確にしていきたい。						
補助金がなくても運営できる団体であれば、補助をする必要がないと考える。						
勤労者の相談窓口へ補助をするなど、市民に説明できる補助としていただきたい。						